

東広島市メールモニター「のんモニ」アンケート集計結果

アンケート	平成29年度第8回
実施期間	平成29年10月18日～平成29年10月27日
テーマ	福祉分野の人材確保について
担当課	高齢者支援課・介護保険課
登録者数	119人
回答者数(回答率)	50人(42.0%)

担当課のまとめ

●アンケートの目的

少子高齢化に伴い、今後、介護などの高齢者福祉に携わる人材不足が懸念されています。介護士などの有資格者であってもその資格を活かした職業に就労しておられない方の意見や、福祉現場への就労者を増やすため、また地域での福祉の担い手を増やすための対策について、市民の皆さんの意見をお聴きするため、アンケートを実施しました。

●アンケート結果を受けて

Q2の回答では、高齢者福祉に関する資格を持っておられる人が2割いらっしゃいましたが、そのうち、Q3の回答で実際に福祉関係の職場で働いておられる人は半分以下で、約9割の人は現在高齢者福祉に何も関わっておられないことが分かりました。

福祉の仕事については、賃金や労働環境の改善が必要であるというご意見もあり、社会全体の大きな課題として、福祉人材の確保に取り組みなくてはならないと考えています。

またQ4で、イベントや地域での活動への参加を通して高齢者福祉に関わってみたいとの意見が多くありましたので、今後、高齢者福祉に関わる人を増やすためには、体験型のイベント等の実施が有効であることが分かりました。

●今後の施策について

福祉人材の確保は、今後、高齢者が増えしていく中で大きな課題です。小学校、中学校への出前講座を始め、若い人への早い段階からの福祉人材にかかる理解促進と並行して、有資格者が再就労できる取組みも今後検討が必要であると考えます。

また、福祉講演会の内容については、来年度以降、体験型の内容も検討していきたいと思えます。

●最後に

率直なご意見等を多数いただき、ありがとうございました。

皆様からのご意見、ご要望は市役所内で共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。



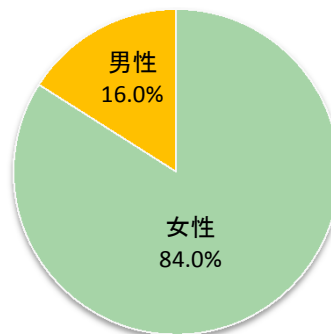
●回答集計

※端数処理のため、比率の合計が100%にならない場合があります。

【回答者の属性】

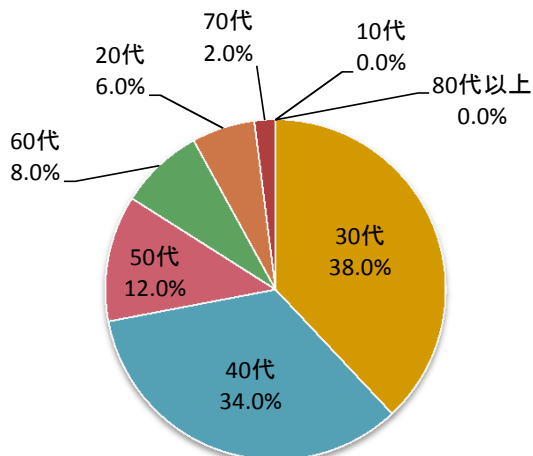
あなたの性別を教えてください。

順位	回答	回答数	%
1	女性	42	84.0%
2	男性	8	16.0%
	合計	50	100.0%



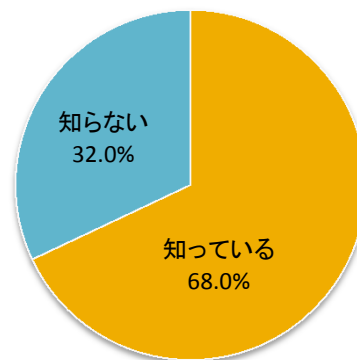
あなたの年代を教えてください。

順位	回答	回答数	%
1	30代	19	38.0%
2	40代	17	34.0%
3	50代	6	12.0%
4	60代	4	8.0%
5	20代	3	6.0%
6	70代	1	2.0%
7	10代	0	0.0%
7	80代以上	0	0.0%
	合計	50	100.0%



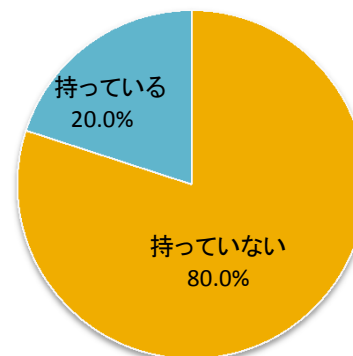
Q1. 東広島市で、介護などの高齢者福祉の現場で働く人が不足していることを知っていますか？

順位	回答	回答数	%
1	知っている	34	68.0%
2	知らない	16	32.0%
	合計	50	100.0%



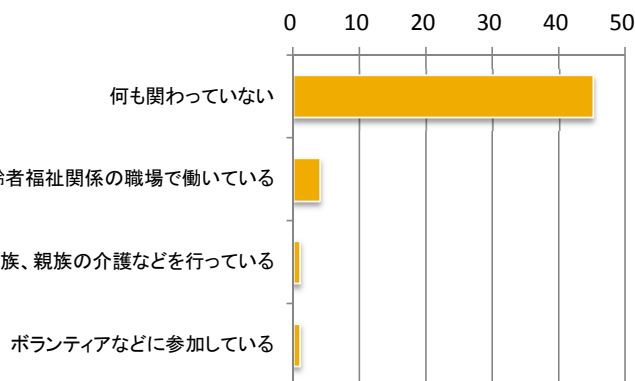
Q2. 介護士など、高齢者福祉関係の資格をお持ちですか？

順位	回答	回答数	%
1	持っていない	40	80.0%
2	持っている	10	20.0%
	合計	50	100.0%



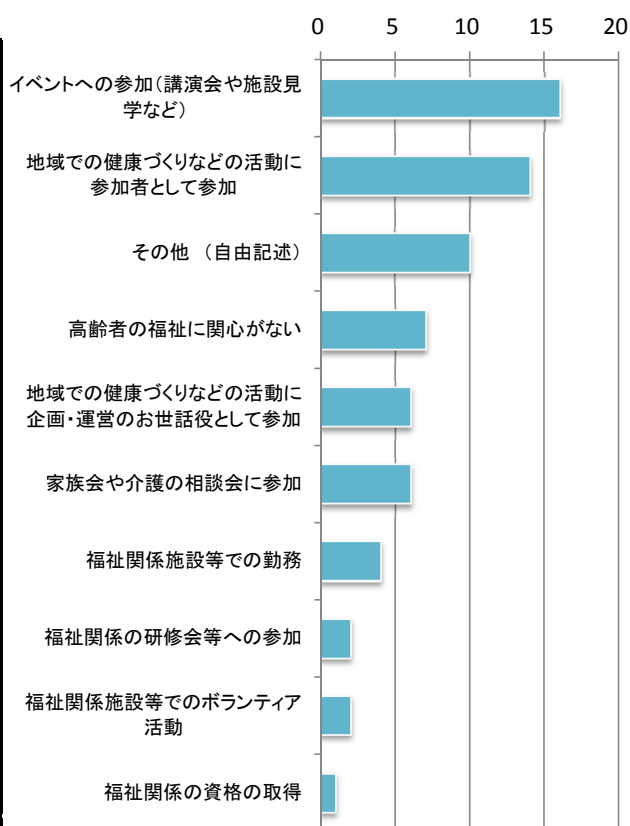
Q3. 現在、高齢者の福祉に関わっていますか？(複数選択可)

順位	回答	回答数	%
1	何も関わっていない	45	88.2%
2	高齢者福祉関係の職場で働いている	4	7.8%
3	家族、親族の介護などを行っている	1	2.0%
3	ボランティアなどに参加している	1	2.0%
	合計	51	100.0%



Q4. 今後、高齢者の福祉にどのように関わってみたいと思いますか？(3つ以内選択)

順位	回答	回答数	%
1	イベントへの参加(講演会や施設見学など)	16	23.5%
2	地域での健康づくりなどの活動に参加者として参加	14	20.6%
3	その他 (自由記述)	10	14.7%
4	高齢者の福祉に関心がない	7	10.3%
5	地域での健康づくりなどの活動に企画・運営のお世話役として参加	6	8.8%
5	家族会や介護の相談会に参加	6	8.8%
7	福祉関係施設等での勤務	4	5.9%
8	福祉関係の研修会等への参加	2	2.9%
8	福祉関係施設等でのボランティア活動	2	2.9%
10	福祉関係の資格の取得	1	1.5%
	合計	68	100.0%

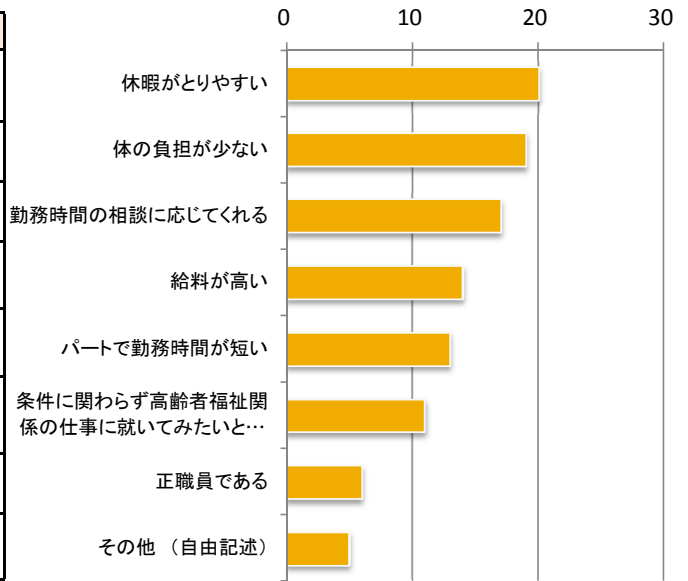


【その他の内容】

- ・看護師資格があるので活用できたらと思っています。
- ・関心が無いわけではないけれど今は仕事と子育てに専念中で余裕がない。
- ・自分には介護の職場は向いてないと思うので。
- ・今は違う職種で働いているので、今のところ考えていない。
- ・初任者研修の資格あり、障がい者施設でパート勤務中。
- ・関わりたいと思わなくても、必然的に関わらざるを得なくなる時期がきます。
- ・現在、老親の介護が進行形であり、その手が離れたら経験に基づいた貢献ができるようになると思う。
- ・未定。
- ・親族に資格保有者がいるので現状や問題、意見を聞いて参考にする。
- ・知り、学び、周囲の人やこれからの自分に活かす。

Q5. どのような条件であれば、高齢者福祉関係の仕事に就いてみたいと思いますか？（3つ以内選択）

順位	回答	回答数	%
1	休暇がとりやすい	20	19.0%
2	体の負担が少ない	19	18.1%
3	勤務時間の相談に応じてくれる	17	16.2%
4	給料が高い	14	13.3%
5	パートで勤務時間が短い	13	12.4%
6	条件に関わらず高齢者福祉関係の仕事に就いてみたいと思わない	11	10.5%
7	正職員である	6	5.7%
8	その他（自由記述）	5	4.8%
	合計	105	100.0%



【その他の内容】

- ・当方がお世話にならなければならない年齢なので働けない。
- ・資格を取得したときに障がい者施設を就職に選んだ。
- ・別に仕事をしているので無理です。
- ・自身が就労条件に多少の制限があるが、応じてくれないのではないかと。
- ・福利厚生がしっかりしている。また、皆が常に改善意識を持ってくだらない輪や雰囲気には抑圧されることなく...

Q6. 東広島市内に福祉を専門的に学ぶ学校があることを知っていますか？

【解説】 東広島市黒瀬町には、福祉を専門的に学べる2つの学校があります。

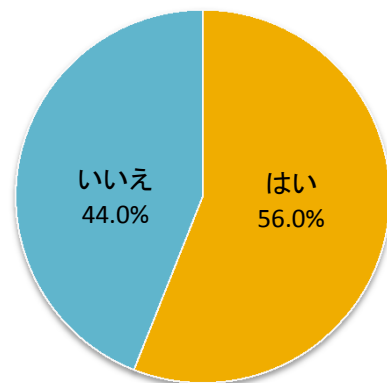
<広島県立黒瀬高等学校>

平成4年度に普通科に加えて福祉科が設立されました。この学科は介護福祉士の受験資格が取得できる県内唯一の学科です。

<広島国際大学東広島キャンパス>

保健医療学部、総合リハビリテーション学部、医療福祉学部、心理学部があり、健康・医療・福祉分野の人材育成をしています。

順位	回答	回答数	%
1	はい	28	56.0%
2	いいえ	22	44.0%
	合計	50	100.0%

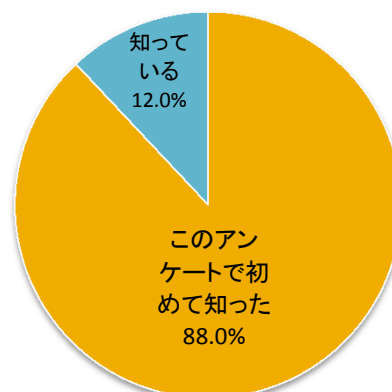


Q7. 市で福祉講演会や小・中学校での出前講座等を実施していることを知っていますか？

【解説】

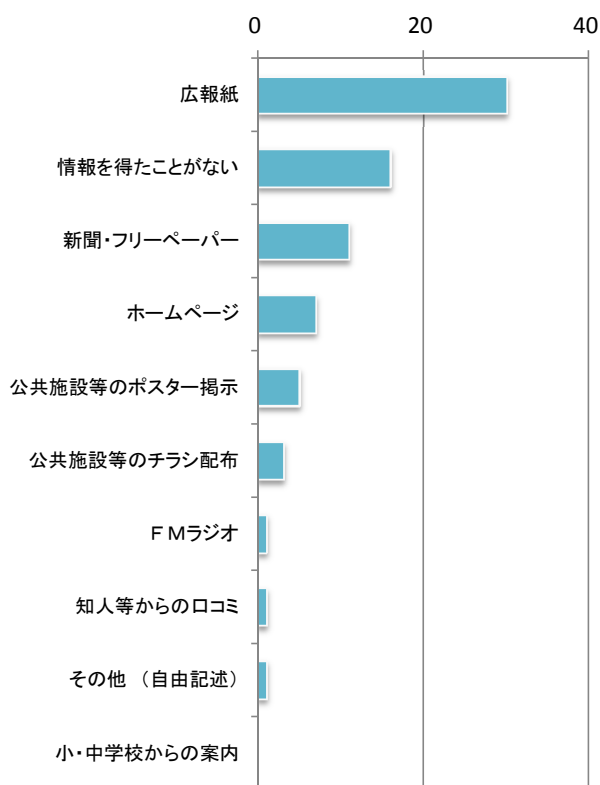
東広島市は、広島県立黒瀬高等学校、広島国際大学と連携し、福祉人材の育成事業として、福祉講演会の開催や小・中学校での出前講座等に取り組んでいます。

順位	回答	回答数	%
1	このアンケートで初めて知った	44	88.0%
2	知っている	6	12.0%
	合計	50	100.0%



Q8. 高齢者福祉の人材育成事業について、何から情報を得ていますか？(3つ以内選択)

順位	回答	回答数	%
1	広報紙	30	44.1%
2	情報を得たことがない	16	23.5%
3	新聞・フリーペーパー	11	16.2%
4	ホームページ	7	10.3%
5	公共施設等のポスター掲示	5	7.4%
6	公共施設等のチラシ配布	3	4.4%
7	FMラジオ	1	1.5%
7	知人等からの口コミ	1	1.5%
7	その他（自由記述）	1	1.5%
10	小・中学校からの案内	0	0.0%
	合計	75	110.3%



【その他の内容】

・インターネットのニュースなど。



Q9. 福祉講演会が11月25日(土曜日)に黒瀬生涯学習センターで開催されます。参加してみたいですか？

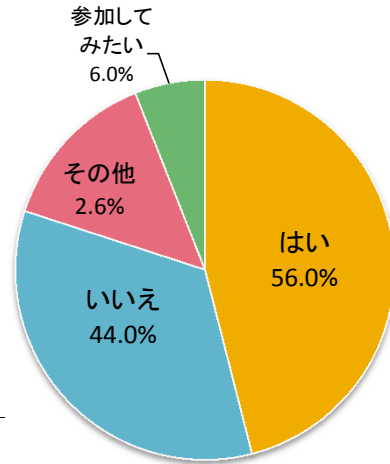
【解説】

第3回 東広島市福祉講演会

講師:西原由美さん 西原海さん

内容:東広島市では、子どもから高齢者、障がい者など全ての市民が安心して健やかに暮らすことができるまちづくりに取り組んでいます。今年度は基調講演「地域の中であたりまえに暮らすために」のほか、福祉用具の展示・体験コーナーなどがあります。

順位	回答	回答数	%
1	わからない	23	46.0%
2	参加したいと思わない	17	34.0%
3	その他 (自由記入)	7	14.0%
4	参加してみたい	3	6.0%
	合計	50	100.0%

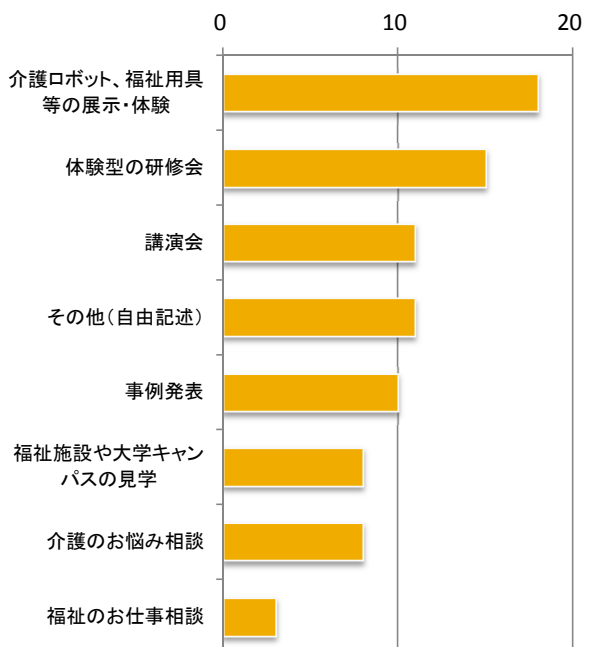


【その他の内容】

- ・既に予定あり。
- ・場所が遠く、分からないため参加は難しいです。
- ・時間が取れないので、参加できない。
- ・小さい子供がいるので、参加したくてもできません。
- ・仕事があるので参加はできない。
- ・今月は子どもの行事、地域行事で精一杯。
- ・具体的に何をするのか、そこでどんなことを学んだり自分にプラスになることがあるのか、チラシでは不透明だった。人が話をしますというだけでは参加する気になれない。

Q10. どのような内容であれば、福祉関係のイベントに参加してみたいと思いますか？(3つ以内選択)

順位	回答	回答数	%
1	介護ロボット、福祉用具等の展示・体験	18	26.5%
2	体験型の研修会	15	22.1%
3	講演会	11	16.2%
3	その他(自由記述)	11	16.2%
5	事例発表	10	14.7%
6	福祉施設や大学キャンパスの見学	8	11.8%
6	介護のお悩み相談	8	11.8%
8	福祉のお仕事相談	3	4.4%
	合計	84	100.0%



【その他の内容】

- ・実際に福祉関係の仕事に就いている人たちの本音の声は聞いてみたいと思う。
- ・周りに介護する人がまだいないのですが、家族を介護しなければならなくなったら、介護のお悩み相談は受けたい。
- ・時間が取れないので、今は参加できない。
- ・東広島市地域行事から外れた比較的楽な時期だと。
- ・積極的に福祉へ取り組んでいる企業を招いた学生向け講演会を大学等でやってもおもしろい。
- ・特にありません(3人)。
- ・興味・関心がないので参加しない(3人)。

Q11. その他、アンケートの感想やご意見等ありましたら、記入してください。（自由記入）

- ・福祉に携わる人は今少なくて必要とされているのに、賃金が安くて労働がきついなどのマイナスなイメージが強いのでプラスのイメージになるには様々な問題解決が必要だと思う。
- ・福祉関係は今後今よりもっと必要で重要な仕事だと思います。多方面の仕事でも人手不足が課題となっている中、体験型のイベントは参加しやすく高齢・福祉問題を身近に感じることのできる唯一の方法。お世話役等参加してみたいと思う気持ちはあっても私自身が介助される障害者の為、残念に思うばかりです。
- ・福祉関係に関わる機会が今のところないのでなんとも言えませんが、酒まつりや何か大きな催事で「活動」や「取り組み」について知る機会があれば立ち寄るかもしれません。
- ・「高齢者福祉」という言葉にひかかりました。
私のこどもは、34歳で重度障害者です。介助、介護をしています。幅広い福祉関連情報の提供をお願いします。
- ・11月25日の講演会に行ってみたいですが、全大会と分科会があり、時間が重なっているのでどちらかにしか参加できないのが残念です。
- ・私の母が私の祖母を介護しています。大変さや、日々の変化に落ち込んだりの様子を見てみると、私も今後同じように介護や福祉に関わっていけるかなと不安に思うこともあります。また、自分の子供達の世代に迷惑かけることもあるかもしれないと思うと、どうにかできないものかと思えます。今の自分に何ができて、今後のために何をすればよいか等、分からず、動いていないのが現状です。
- ・介護もだけど、いま自分が心理的に病院へ通いながら実際パートしながら仕事をしているので、出来たらレベルアップを考えても、介護のような力が必要な時仕事は難しく、出来たら現場でなく事務とかリハビリとか心理士とかで関わられたらと思います。その為には資格をまず取ることになりますが、そこまでの経済的な余裕もない状態なので、難しいというのが現実です。
- ・以前、他市にて親族の介護を手伝っていたことがあります。その市では市役所に福祉の資格を持つ専門職の正職員がおり、窓口で手続きのほかには介護の相談にのってもらえてお世話になったと家族が申していました。東広島市にも同様の職員が常駐していると市民にとって心強いし、福祉に対して市全体で取り組んでいることをよりアピールできるかもしれないと思います。
- ・普段は福祉のことを考えることがなかったので、今回のアンケートで改めて考えていかなければならないと感じました。
- ・両親が70代を前にして、介護のことを考えなくてはならないなど感じるようになりました。自分の生活を守るために、安心してお願いできる場所があれば、本人も私も気が楽だろうなと思います。人材が不足しないことを願っています。そのための教育機関が必要。
- ・介護の仕事ではないのですが、老人ホームなどに定期的に行っています。よい方もいらっしゃいますが、かなり頑固な方や、認知症の方とかも多く、働いてらっしゃる方は大変だと痛感しております。力仕事も多く、男性スタッフがもう少し多くあればよいと思います。
- ・昔は興味があり、ボランティアもしていましたが、就職し、家事育児もある今は、興味を持つ余裕がありません。
- ・育児中に介護と重なる事に備えた対応や、自身や他家族が病気の際の対応が、金銭面共にアドバイスが公開されていると良いかと思う。
- ・すでに介護関係の仕事に就いているが、年々体の負担を感じるようになってきた。介護する側の体力も考えてサービス内容を変更するなど積極的な改善が必要である。
- ・知ってもらう、の先へ行くためには、いかに相手の興味に合わせるかということが大事だと思っている。相手が求めているもの(子供の遊び場、就活のヒント、企業研究のヒント、社会勉強などなど)を分析して、そこと絡めたイベントを打つことでターゲット層を強く引き付けることができる。
逆に、そこと外れてはいつまでもターゲット層を取り込むことはできないし、馴れ合いイベントになってしまう危険すらある。
- ・賃金や労働環境の改善が人材確保には必要だと思います。この問題は、事業者の努力だけでは解決困難だと思います。人が足りないところに事務処理や書類をふやせばかりいては本末転倒だと思います。制度としては、重複作業や書類をまとめる努力をしていただきたい。
- ・やはり、給料が問題。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

